



TITLE:

# 和歌山県で発見された巨大カメノ テ(甲殻類)

AUTHOR(S):

北尾, 芳樹; 久保田, 信

---

CITATION:

北尾, 芳樹 ...[et al]. 和歌山県で発見された巨大カメノテ(甲殻類). 南紀生物 2009, 51(2): 153-153

ISSUE DATE:

2009-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188328>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

## 和歌山県で発見された巨大カメノテ(甲殻類)

北尾 芳樹\*・久保田 信\*\*

Yoshiki KITAO and Shin KUBOTA: Giant individuals of *Capitulum mitella* (Crustacea)  
found in Wakayama Prefecture, Japan

甲殻類に属するカメノテ *Capitulum mitella* (LINNAEUS) は、わが国では本州北端以南、海外ではマレー半島までに分布し、潮間帯の岩礁に付着群生するが(内海, 1979; 山口, 1995)、北海道南西部の日本海に面した小樽市忍路の岩礁でも稀に記録されている(元田, 1971; 久保田, 未発表)。本種の体長は通常は3-4 cm だが、大型個体は7 cm に達する(内海, 1979; 山口, 1995)。

今回、和歌山県由良町衣奈沖の黒島において、上記の記録を上回る巨大なカメノテが潮間帯の岩礁で群生しているのを2007年3月に発見したので報告する。それらは、柄部が細長く(70 mm)頭状部基部の幅が広くはない(23 mm)、体長100 mmの個体、柄部が短く(27 mm)頭状部基部が幅広い(30 mm)、体長48 mmの個体、および前二者の中間型のような個体(柄部42 mm; 頭状部基

部の幅29 mm; 体長68 mm)から構成されていた(図1)。これら大型個体のうちには、柄部の基部に幼若個体が複数付着している場合も多々みられた(図1)。このような巨大個体の年齢や寿命、成長速度などは不明だが、人間に採取されないような隔離された場所で成長を妨げない環境のもとでは、カメノテは普段見られないほどの巨大な姿に成長できるのであろう。

### 引用文献

- 元田 茂編. 1971: 北海道大学忍路臨海実験所. 日本プランクトン学会報, 18(1), 32-94.  
内海富士夫. 1979: カメノテ. in “新編日本動物図鑑”, 404, 北隆館, 東京.  
山口寿之. 1995: カメノテ. in “原色検索日本海岸動物図鑑 [II]”, 119, 保育社, 大阪.

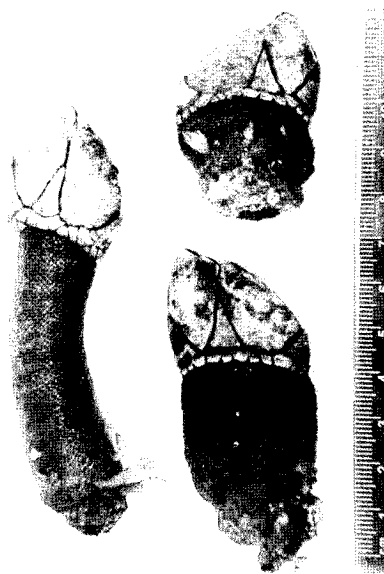


図1 和歌山県で発見された巨大カメノテ

Fig. 1. Giant individuals of *Capitulum mitella* (LINNAEUS) found in Wakayama Prefecture, Japan.

\* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町755-4

\*\* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所